



学校だより

児童数：630名（男：343名 女：287名）

学校教育目標 ◎かしこく ◎なかよく ◎たくましく ◎心ゆたかに



保護者から
いただいた
龍の切り絵②

こころは見えないが、こころづかいは見える。
思いは見えないが、思いやりはみえる・・・

校長 戸野塚 晃

しばらく暖冬だったかと思えば、最強寒波襲来などというお決まりのキャッチフレーズの様なもので天気予報は私たちを慌てさせますが、それでも、例年よりは落ち着いた冬を過ごしているような気がしています。能登半島地震とその関連の事故によって苦しんでいる皆様に、早く暦の「立春」という名の通り、暖かな春が訪れることを心より祈っています。

さて、突然ですが、右の画像の方をご存じでしょうか。本校の開校記念日（2月10日）も近いということもあり、この方を全校朝会で子どもたちにも紹介をしました。本校に大変関りの深い人物です。お名前は、宮澤章二さんと言います。お名前を聞くと思い出される方もいらっしゃるかもしれません。埼玉県羽生市出身の著名な詩人であり作詞家でもある宮澤さんは、旧大宮市の教育委員長も務められ、手掛けた校歌は300曲以上に上ります。そして、この方は泰平小学校の校歌も作詞をされています。本校の学校教育目標はこの歌詞の中にある「かしこく なかよく たくましく」と「こころ豊かに」の歌詞から掲げられているのです。そこで、ここでは宮澤章二さんの数ある詩の中で、私が好きな詩を一つ紹介させていただきます。行為の意味という詩です。書かれている言葉に覚えがある方がいらっしゃるかもしれません。

2011年3月11日に東北地方を襲った東日本大震災の直後からテレビのCM放映が一斉に消えました。それに代わって繰り返し流されていたのがACジャパン(公共広告機構)のメッセージビデオなのですが、そこに使用されていたのが宮澤章二さんのこの詩の一部でした・・・。

行為の意味

宮澤章二

—あなたの〈こころ〉はどんな形ですか
とひとに聞かれても答えようがない
自分にも他人にも〈こころ〉は見えない
けれどほんとうに見えないのであろうか
確かに〈こころ〉はだれにも見えない
けれど〈こころづかい〉は見えるのだ
それは人に対する積極的な行為だから
同じように胸の中の〈思い〉は見えない
けれど〈思いやり〉はだれにでも見える
それも人に対する積極的な行為なのだから
あたたかい心があたたかい行為になり
やさしい思いがやさしい行為となるとき
〈心〉も〈思い〉も初めて美しく生きる
—それは人が人としていきることだ

「こころづかい」や「思いやり」を必要としている人たちは、身近なところにもたくさんいます。友人、家族、親戚、そして、他人であってもです。まして、被災地にいらっしゃる方々、それに関わっている方を考えれば、いつ、どのような手立てで、助けを必要としている人たちに手を差し伸べることができるのか、そういった思いをいつも考えておくべきだと思っています。あたたかい行為は、あたたかい心が積極的に動くことにより初めて見えるようになるのです。行為が見える…、意図的に動こうとしている…、そうした子どもの育成を職員一丸となって今後も目指します。

大谷翔平選手のグローブが本校にも寄贈され、先日の全校朝会でお披露目をしました。大谷選手からの手紙を紹介した後、6年生の代表児童によるキャッチボールが行われ拍手喝采でした。

- ・〇〇君の感想「やわらかくて取りやすかった。自分でもホームランを打ちたくなりました。」
- ・〇〇君の感想「取りやすかったです。プロ野球の選手になってみたいです。」

ぜひ、夢を語ることの勇気を持ち続けてほしいですね。

地域、保護者の皆様と一緒に今後とも積極的に動ける児童の育成に取り組んでいけたら幸いです。

何卒よろしくお願い申し上げます。